



「西小倉めぐみ教会の使命とは?」

倉橋 剛

聖名を崇めます。私たちの小さな教会が神さまのご用のために小さな働きであっても続けさせていただけるのは、本当に多くの方々のお祈りとお支えがあることを深く感じ心より感謝しております。

今号は、少し個人的なことも含めた文章になることを、また今回のみ字数の制限がないので少し長くなることもお許し下さい。

最近、教会員は私の説教が益々同じ所にたどり着いているなあ、と感じておられるのではないのでしょうか。それは「弱い立場の方々と共に歩む」と言うことです。まさにイエスさまがご自分の生きざまを通し、徹底して弱い立場に立たされている方々と共に歩まれた姿から指し示される神さまからのメッセージであると私は確信しているからです。「弱い立場の方々と共に歩む」、と言うと「それは、きれい事や!」「そんなこと出来っこない!」と批難されたり否定されることも多々あります。でも、私は、心の底から感じるのですが、自分が命を与えられ、生かされている時間さえ私たちにはわかっていないのです。その「今」を生きることだけが許されている自分が、本当にすぐ近くで、すぐ横で、苦しみ、悩んでいる方々と出会った時、もう理屈とかでなく、その時から一緒に歩くことが始まっているのです。構えて何かを始めるとか、ま

してや立派な行為でも何でもなくて、「ほんまに、しんどいなあ」「そんな中で、よう頑張ってきたなあ」と一緒に話をしているだけなのです。大きな事でなく、一人の人に真摯に向き合い、心の声に耳を傾ける小さな行為なのです。でも、そのことが共に歩むことの第一歩なのではないでしょうか。

西小倉めぐみ教会は、おそらく日本のキリスト教会の中でも非常に個性的な教会だろうと思っています。牧師を始め教会員本人、またその家族がしょうがいを持っている、特に精神疾患の方が7,8割はおられるのでしょうか。また、8年前から始めたひきこもりの方々の居場所、フリースペース「おやすみ」も、本当に一人一人深い悩みを持っておられます。お話を聴かせていただいても、私がかすパッと答えが出せる訳でもありません。実際、ほとんどがそんな簡単に解決出来るような問題ではありません。じゃあ、何が出来るの?と聞かれたら、正直「何も出来ないなあ」と思うのです。でも、そんな多くの苦しみや、辛さを抱えた人との出会いを与えられてわかったことがあります。「弱い立場にある方々と共に歩む」とは、やはり「共感」なのだろうと。そんな辛い中で、精一杯頑張ってきたんやなあ、本当にすごいと思うよ。と心から感じますし、その思いを伝えます。そして、もう一つは「共存」です。ひとりぼっちじゃないよ。私は小さい存在だけれど私も仲間もいるよ、と。そこから初めて「これからどうしていきたいのかな」と一緒に考え始めること、もしかしたら何らかの行動をとれることもあるかも知れません。けれど、それは目的ではありません。まずは、「ありのままのあなたの存在が大切なんですよ」とお伝えしたいのです。

個人的なことで恐縮ですが、私は若い頃に母親を自死で亡くし、その事で自分自身を責め続け、だんだん精神的な病が発症してきました。色々ありましたが、今は、身体的にも5つほど病名が付付けられています。病気の百貨店みたいや、と自分でも



はいつせんそくせんしよ
言っていますが。特に肺血栓塞栓症で突然意識がなくなり、「そのまま急死していてもおかしくなかったですよ」と後で医師に言われたり、と言うこともありました。精神的なしんどさと共に、痛みも含めこれだけあれこれと経験させてもらうと、様々な苦しみや辛さを抱える方々の中での「共感」の部分が、ほんの少しでしょうが広がった気がします。もちろん、私はそんな体験をしていないからわからないです。と言われる方は多いでしょう。私の経験なども多くの苦難を思うと、ほんのちっぽけなことではありません。ただその人にまっすぐに向かって、心の声を聴こうとする思いはたとえわからないことが沢山あったとしても、ちゃんと相手の方には伝わるのです。弱い立場の方々と共に歩むということの土台には、やはりこんな弱い私自身が、神さまに丸ごと受け入れられ、赦されているということが何より大きな力となって存在しています。

私たちの西小倉めぐみ教会は、実にしんどさを抱えておられる方が多く集う教会です。ゆえに私は、この教会が少しでもしんどさを抱える方々の貴重な「受け皿」となり「居場所」となれるのではないかとずっと思ってきました。聖書の「弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」とのみ言葉が心に浮かびます。きっとこれからも、神さまが私たちの教会の進む道を指し示してくださると信じています。個性豊かな色々な教会があって良いと思うのです。そして、その中で西小倉めぐみ教会には、きっと神さまが「弱い立場にある方々と共に歩む」という使命を指し示して下さっているのではないかと思えるのです。

多くの教会や信徒の方々が、私たちの小さな教会を覚えて祈り、お支え下さっています。本当に感謝です。言葉だけでなく、少しでもその使命を果たしていけますように、これからもお祈りの内に覚えていただければ幸いです。
在 主

クリスマス特別礼拝とイブ礼拝 「みんなでクリスマスを！」 2014年12月21日

今年は当教会が宗教法人設立という大きな節目を乗り越え、各教会員も様々な重荷を負い、世界もそしてこの社会も暗雲が覆う中で迎えたクリスマス特別礼拝。「暗闇の中で輝く光」と題して倉橋牧師からのメッセージを受け、希望をもって祈り求める思いを新たにしました。

そして、例年同日夜に開いているイブ礼拝「みんなでクリスマスを！」。今回は「東日本大震災を忘れない！」をテーマに、今なお苦難の中にある被災者の方々を覚える時をもちました。例年と違うのは、特別にゲストの方を呼ぶのではなく、教会員やその周辺の方々による手作りのプログラムで構成しました。歌やコーラス、「原発難民の詩」の朗読、篠笛の演奏、そして「歌ごえ」（3ページ参照）に参加の皆さまによる「きよしこの夜」など5曲の合唱と、それぞれにこの日のために練習を重ねて臨みました。この日の献金（募金）は、主に石巻と仙台で貴重な働きをされている「エマオ」に贈ることとしました。



富増献児さん 転入会 2014年12月21日

この日のクリスマス特別礼拝の中で、富増献児さんの転入会式をもちました。児童養護施設や保育園で勤めてこられ、この年の春に退職された富増さん。小さな教会での礼拝を守りたいとの思いで、世光教会から転入会されました。礼拝後はクリスマスの愛餐会と歓迎会をもち、新たに富増さんが群れに加わられたことを心から喜びました。送り出してくださいました世光教会にも感謝いたします。



教会の紹介

ひきこもりがちな青少年の居場所 《フリースペース「おやすみ」》

子どもたち、若者たちにとって今の社会は本当に生きづらい社会になってきています。一人一人違う個性を持っているにも関わらず、また辛い環境の中で精一杯すでに頑張っているひきこもりがちな若者たちに、「さぼってるんじゃないの?」「もっと頑張れ!」と無理解な周りの人たちの言葉で、さらに傷つき心も身体も疲れ果てている青年たちも少なくありません。そんな現実を見ながら、少しでも、ゆっくりのんびり心を休めることの出来る居場所の必要性を強く感じました。家以外で、安心して過ごせる場所として利用して頂けたら、こんなに嬉しいことはありません。

〈時〉 毎週月曜日 午後2時～5時

〈参加費〉 無料

〈対象年齢〉 35歳まで

《居場所「のんびり」》

フリースペース「おやすみ」はひきこもりがちな青少年が利用できる場として登録もされ、年齢制限があります。そのため年齢は勿論、どなたでも自由に利用でき、のんびりゆっくり過ごしてもらうことで少しでも心の休養がとれるような居場所を開いています。

〈時〉 毎月第2日曜日 午後1時～3時

〈参加費〉 無料

《歌ごえ》

月に一回、どなたでも参加できる楽しい歌の集いを持っています。地域の方々と気楽に好きな歌を歌って、良い交流の時を過ごしています。特に、一人暮らしの方、昼間お一人で過ごしておられる方々とも一緒に楽しい時を過ごせたらと願っています。

〈時〉 毎月第4金曜日 午後2時～3時半

〈参加費〉 無料

《西小倉めぐみ教会墓地》



当教会は、城陽霊園(京都府城陽市深谷)に墓地があります。高齢者や車いすの方も車で墓地のすぐ側まで行け、共に墓前礼拝を守ることが出来ます。現在、毎年2回春と秋に墓前礼拝を守っています。墓地の購入を考えたとき、墓地に入れるのは「教会員に限る」という条件を設けないでおこうと話しました。それは、様々な事情で(経済的な理由等)お墓を建てるのが困難な方も多くおられるからです。希望される方は教会に申し出ただき、役員会の了承を得て既に何人かの教会員以外の方も、共に納骨されています。



「西小倉めぐみ教会を支える会」へのご支援のお願い

主の御名を賛美いたします。

西小倉めぐみ教会は、1981年の創立以来、社会の中で小さくされた人たち、貧しくされた人たち、しょうがいをもつ人たち、とりわけ精神しょうがい者の人たちの課題を共に負って生きること、平和を希求して歩むことを宣教の課題として歩んできました。2005年から倉橋剛牧師を迎えた後も、その基本姿勢に変わりはありません。

不登校・ひきこもりがちな青少年の居場所「おやすみ」や、年齢制限のない居場所「のんびり」、地域の方々と歌を通じて交流する「歌ごえ」など、ささやかながらそのような基本姿勢のもとに取り組んでいるものです。

同教会では、教会に集う人たち自身が精神しょうがい者であったり、その家族に精神しょうがい者がいる人たちが多くを占めています。弱い立場にある人たちが多く集う教会ゆえに、教会員による精一杯の献金にもおのずと限界があるところです。

そのため、倉橋牧師の謝儀に対し、京都教区宣教連帯の制度から援助を頂き、さらに全国の皆様から「西小倉めぐみ教会を支える会」に献金をいただき、なんとか牧師家族の生活を支えてきました。同時に、教会の支出の見直しを重ねるとともに、牧師家族には様々な面で生活を切り詰めていただく等の努力をしていただいております。

このほど2010年度以来進めてきた宗教法人設立のための準備が整い、2014年8月には「宗教法人日本基督教団西小倉めぐみ教会」として再スタートすることができました。これからも厳しい状況にあっても、小さく弱い群だからこそこの教会が神様から与えられた使命を果たし続け、その社会的はたらきをより広く知っていただくための発信を続けたく思います。

そのようなこの教会のはたらきと、厳しい経済的事情にどうかご理解をいただき、「西小倉めぐみ教会を支える会」へのご支援をいただきたくお願い申し上げます。 2015年 1月

西小倉めぐみ教会を支える会 代表 山下茂雄（醍醐教会牧師）

今までに御献金いただいた方のお名前（敬称略・順不同）2014.8.3~2014.12.31現在

鴨東教会 君村千代子 佐藤嘉子 安達太郎・美千子 川上 信 福井達雨(能登川教会) 足立こずえ
洛南教会 千歳教会 李清美・棚谷直巳 葛西佳子 目白町教会 難波 巧 琴浦教会 竹内富久恵
光明園家族教会(金地慶四郎)、宇治教会すみれ会、宇治大久保伝道所、静岡草深教会、倉敷水島教会、
田中 晁・千栄 小曾根一枝 西本 愛 杉本節子 門戸幸子 岩城澄子 橋本 博 倉橋 剛・容子
(64件 計 301,510円)

支える会の会計が大変逼迫しています。引き続きご支援をよろしく願いいたします

振り込み口座番号(ゆうちょ)…00970-2-79224 (加入者名 西小倉めぐみ教会を支える会)

●教会のホームページをご覧ください！！

西小倉めぐみ教会のホームページが出来ています。まだまだ内容はこれからですが、これから充実させていく予定です。教会通信の1号から18号まで掲載しています。是非一度ご覧ください。アドレスはwww.n-megumi.comです。

また、不登校やひきこもりがちな子ども達、若者達のフリースペース『おやすみ』のホームページもあります。アドレスはoyasumi.infoです。こちらの方も併せてよろしくお願い致します。